

議案第 2 号

一般職の任期付職員の採用等に関する規則の一部改正について

令和 7 年 3 月 25 日 提出 岩手県人事委員会 委員長 渡辺 正和

第 1 趣旨

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正に伴い、特定任期付職員業績手当が廃止されたことから、所要の整備をしようとするものである。

第 2 規則案の内容

特定任期付職員業績手当に係る規定を削除するとともに引用条項を改める等所要の改正を行うこと。（第 1 条、第 4 条～第 9 条関係）

第 3 施行期日（附則関係）

令和 7 年 4 月 1 日から施行すること。

一般職の任期付職員の採用等に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和7年3月 日

岩手県人事委員会
委員長 渡 辺 正 和

岩手県人事委員会規則第 号

一般職の任期付職員の採用等に関する規則の一部を改正する規則

一般職の任期付職員の採用等に関する規則（一般職の任期付職員の平成14年岩手県人事委員会規則第28号）の一部を次のように改正する。

改正前	改正後
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成14年岩手県条例第56号。以下「条例」という。）<u>第7条第4項及び第11条</u>の規定に基づき、任期付職員（条例第2条及び第3条の規定に基づき任期を定めて採用された職員をいう。以下同じ。）及び任期付短時間勤務職員（条例第4条の規定に基づき任期を定めて採用された職員をいう。以下同じ。）の採用及び給与の特例に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p><u>(特定任期付職員業績手当)</u></p> <p>第4条 <u>条例第7条第4項の特に顕著な業績を挙げたかどうかは、同条第2項又は第3項の規定により特定任期付職員の給料月額が決定された際に期待された業績に照らして判断するものとする。</u></p> <p>第5条 <u>特定任期付職員業績手当は、12月1日（以下「基準日」という。）に在職する特定任期付職員のうち、特定任期付職員として採用された日から当該基準日までの間（特定任期付職員業績手当の支給を受けたことのある者にあつては、支給を受けた直近の当該手当に係る基準日の翌日から直近の基準日までの間）にその者の特定任期付職員としての業務に関し特に顕著な業績を挙げたと認められる特定任期付職員に対し、当該基準日の属する月の職員の給与の支給に関する規則（昭和38年岩手県人事委員会規則第20号）第25条に規定する期末手当の支給日に支給することができるものとする。</u></p> <p>（第2条第2項任期付職員の級別資格基準表の適用方法等の特例）</p> <p>第6条 [略]</p> <p>（第2条第2項任期付職員の号給の決定の特例）</p> <p>第7条 [略]</p> <p>（初任給等規則の規定の適用に関する読替え）</p> <p>第8条 [略]</p> <p>（補則）</p>	<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この規則は、一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成14年岩手県条例第56号。以下「条例」という。）<u>第10条</u>の規定に基づき、任期付職員（条例第2条及び第3条の規定に基づき任期を定めて採用された職員をいう。以下同じ。）及び任期付短時間勤務職員（条例第4条の規定に基づき任期を定めて採用された職員をいう。以下同じ。）の採用及び給与の特例に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>（第2条第2項任期付職員の級別資格基準表の適用方法等の特例）</p> <p>第4条 [略]</p> <p>（第2条第2項任期付職員の号給の決定の特例）</p> <p>第5条 [略]</p> <p>（初任給等規則の規定の適用に関する読替え）</p> <p>第6条 [略]</p> <p>（補則）</p>

第9条 〔略〕

第7条 〔略〕

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この規則は、令和7年4月1日から施行する。